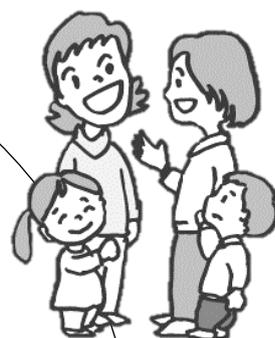


始まっています！地域のきずな・地域のつながり

みんなと地域の福祉活動



地域で

気になることを

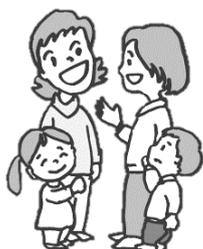
みんなと

活動でつないでいく



社会福祉法人 港区社会福祉協議会

ごあいさつ



社会福祉法人 港区社会福祉協議会
会長 柴山 義光

東京の都心にある港区、そこに住む私たちの日常は、明るく活気があり、安心安全なまちに、たくさんのやさしさ、よろこびにあふれています。

しかし現代社会では、全国的に、どこの地域でも社会的孤立や孤立死などの課題があり、さまざまな行政施策や地域の取り組みが行われています。

東日本大震災の時 被災地では、地域のつながりが強かった地域は、さまざまな対応や取り組みに大きな力を発揮したと言われています。

今、地域のつながりや絆の重要性が見直されています。

地域の絆や地域のつながりは、日頃の小さな活動の積み重ねによってつくられていきます。港区でも、すでに多くの方々が、それぞれ地域の絆づくりを進めています。

身近な地域で、身近な気になることを、

身近なみんなと、身近な活動でつないでいく…

社会福祉協議会は、地域みなさんとともに

「小地域福祉活動～みんなと地域の福祉活動～」を推進します。

私も、港区に住み暮らすものとして、地域みなさんと一緒に、地域の絆づくりを進めたいと思います。ぜひ、ご一緒に進めましょう。



◇小地域福祉活動とは…

身近な地域で、地域の課題を、地域の人ができることで、解決しようとする具体的な活動と、その過程としてとらえています。

- ① ひとり暮らし等高齢者などを対象とし、福祉や防犯防災、地域の情報交換、孤立防止などを目的としたサロン活動、子育ての不安や心配、孤独感やストレスなど母親等の情報交換・リフレッシュのためのサロン活動
- ② 地域の中で孤立しがちな方々を対象とした、地域のゆるやかな声かけ見まもりの活動
- ③ 地域の方々の参加で地域の話し合い、地域の課題に取り組む活動、交流を深める行事を実施するなどの小地域福祉活動協議会の活動

港区社会福祉協議会では、以上の3つを主な活動と位置付けています。これら3つの活動により

地域で

気になることを

みんなと

活動でつないでいく

このことを

小地域福祉活動
～みんなと地域の福祉活動～

と呼んでいます。



◇活動の始め方

～3つの始め方をご紹介します～

多くの地域で共通する、身近な「気になる」ことに取り組む始め方

サロン活動を始める



地域で顔の見える関係づくりを始めましょう。福祉や地域のさまざまな情報交換、みんなが気兼ねなく集える茶話会やレクリエーションにより、社会的孤立を防ぐことなどを目的とします。

ひとり暮らし高齢者や障害者、子育て中の母親などが対象で、身近な地域で呼びかけて、身近な場所で始めましょう。

対象：地域組織等・地域グループ
年 12 回以上実施

声かけ見まもり活動を始める



サロン活動で、顔と顔がつながって、サロン以外の日などに声かけ見まもり活動を加えて、普段のつながりを深めます。専門家等とも連携して、必要な支援につないでいくことができるような、そんな関係づくりを目的とします。(対象：地域グループ)

また、地域内の方を対象に、地域に合った方法を工夫して、地域でゆるやかに声かけ見まもりにより、地域のつながりを強くし、社会的孤立の防止や防犯等にも役立てます。専門的に対応が必要な場合には専門家につなぎ、普段の活動と、専門的対応が、バランスよく連携し、災害時にも役立つ地域のつながりづくりを目指していきます。(対象：地域組織等)

活動対象：地域組織等、サロン実施地域グループ
年 32 回以上実施

地域の福祉のことを意見交換する

みんなの会議を始める

(小地域福祉活動協議会の活動)

地域の福祉のことを、「みんなの会議」で考えて、地域の中でできる活動を、地域の人々と始めます。

地域組織等の中に、福祉のことを考える「みんなの会議」の組織を立ち上げます。「みんなの会議」は、町会・自治会の「福祉部」だったり、「福祉委員会」だったり…名前を付けて位置付けます。地域組織等だからできること…、そのための意見交換を進めましょう。みんなで考え企画する活動に取り組み始めるように…

また、サロン活動や声かけ見まもり活動につなげるための準備や組織づくりに取り組み始めるように、組み合わせることができます。

活動を地域に広めて、地域の人々の参加と意識を高めて、ご近所の福祉力の向上を目指します。地域でできる、ゆるやかな活動を継続的に進めながら、必要な支援は専門機関につないでゆくことができるしくみと組織づくりが目的です。

活動対象：地域組織等

定期的な会合と活動（サロン活動、声かけ見まもり活動との組み合わせ可能）



※地域組織等：町会自治会、集合住宅管理組合等

※地域グループ：地域組織等以外の地域の任意グループ

◇コーディネーターがお手伝いします。

～みんなと地域の福祉活動～ それぞれの活動を始めるにあたり
社会福祉協議会がお手伝いします。

- ① 活動開始準備のために、必要な情報を提供します。
- ② 活動に関することなどの相談支援を行います。
- ③ 活動に関する傷害保険に加入します。(登録要)
- ④ 活動費用を助成します。(登録要)
- ⑤ 活動を通して必要となる行政等との連携のため、行政サービスや様々な専門家の専門的対応や側面的支援など、地域のみなさんと専門機関をつなぎます。
- ⑥ その他 社会福祉協議会の専門のコーディネーターが出向いてお手伝いします。

<登録・助成の要件概要>

サロン活動

対象：地域グループ・地域組織等

年 12 回以上実施

登録 3 年度目まで助成限度額 50,000 円

登録 4 年度目以降助成限度額 25,000 円

声かけ見まもり活動

対象：地域グループ（サロン実施）・地域組織等

年 32 回以上実施

地域グループ助成限度額 20,000 円

地域組織等助成限度額 20,000～65,000 円（人数区分に応じ）

小地域福祉活動協議会の活動

対象：地域組織等

定期的な会合と活動実施

助成限度額 30,000 円



サロン活動&声かけ見まもり活動 はじめ方の流れ



サロン活動

声かけ見まもり活動

step1.

身近な地域の人たちと話し合しましょう

まずは……



point! 気軽に参加できる場をつくる、ということを念頭に、地域の中で顔と顔がつながって、絆づくりに結びつくサロンのイメージを話し合しましょう。



point! 地域の人たちと話し合しましょう。地域で「気にかける」ことについて、意見交換したり、活動に必要な準備を進めましょう。

step2.

みんなが無理なくできるためのルールをつくりましょう

どのように……



point! 誰もが参加できる内容や無理なく続けられるルールづくりをして、サロンに出てもらいたい地域の人たちへ声をかけましょう。



point! 地域の皆さんの協力を得て、この活動を進められるようなしくみづくりをして、地域の人たちにお知らせしましょう。

step3.

活動を始めましょう（スタート）



point! 活動しながら気づいたことなど、メンバー間で共有しながら、みんなの笑顔がつながっていくサロン活動を続けましょう。



point! 近隣にお住まいの高齢者等を対象に、声かけ見まもり活動をすることで、ちょっとした「気にかける」関係をはぐくみ、地域の「絆」を深めましょう。

※地域グループの場合の例

※地域組織等の場合の例



社会福祉法人港区社会福祉協議会

小地域福祉活動担当

〒106-0032 港区六本木 5-16-45

港区麻布地区総合支所 2階

TEL 6230-0283

FAX 6230-0285

「みんなと地域の福祉活動」～小地域福祉活動推進事業～には、歳末たすけあい運動の募金が活用されています。



港社協 検索

ホームページでも詳しい情報をご覧ください。